

日本共産党 和歌山市会議員

# ひめだ高広ニュース

No.1143

17.3.14

## 2月定例会市議会報告

3月も半分過ぎの頃、おひさしの暖かさが増してきました。2月定例会市議会は今週、常任委員会と当初議案の審査をしていりますが、実質的な審査は明日で終わります。今月は、3月9日(木)に行った私ひめだの一般質問の報告です。

## 農業に関する質問

私、ひめだの一般質問の1つめは、農業に関する質問です。20年ぐらい前に「土ってあったかいね、農業小学校の記」という絵本図鑑を買いました。今西祐行さんと

いう児童文学の作家が神奈川県北の端、藤野町、現在は相模原市緑区の旧藤野町というところにつくった私立の菅井農業小学校の記録と写真がいっぱい載った本です。今西さんは、幼い

日に自分の食べるものを自分で作って食べてみるというのが、農業小学校の目標で、この本には、農業小学校設立の経緯とともに、この農業小学校で作ったジャガイモ、大根、サツマイモ、コニヤクノ栽培の仕方や原産地のこと、これらの作物が日本で食べられるようになった歴史など興味深い話が載っています。私は、いつかこの農業小学校について質問したいと思っています。

今回、私はコメ作りをしている農家の方や市民農園に関わっている農業関係者の方にも話を聞き、そうした方々の要求などもあわせて

紹介し、市の考え方を質問しました。質問の柱は、①都市農業振興基本法に基づいた地方計画の策定、②生産緑地制度の持続要件を外し、50㎡以上なら指定を

## 今週のフツの人々

(その89)

フクシマを忘れない

3月12日(日)和歌山城西の丸広場で「フクシマを忘れない、原発ゼロ」へ和歌山アクション2017集会が開かれました。昨年作った「原発アカン」のプラカードに新しく「原発ゼロ」を付け加えて一時過ぎから始まるアピールパレードに参加。かつてシユプレコールは「原発はんたーい。オーミック」という具合。最近では「コレはコレで、原発

市民農園の拡大やまちなかへの設置、④農業体験農園の拡大、⑤「農業小学校」の開校についての5点で質問しました。

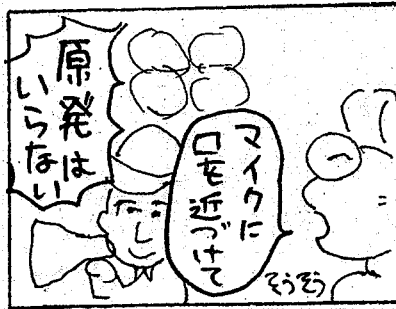
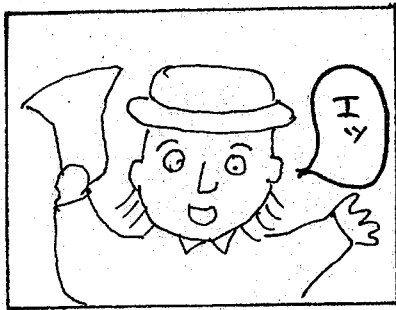
発反対、電気は足りてる。子どもを守れ、おとなも守れ」とリズムよく言葉を繰り返します。最初はちょっと気恥しかったのですが、慣れこんでいきました。西の丸の砂の丸、団公園、関電前、屋形通り、三木町交差点、公園前、丸城一周コース。日曜日で天気もよく大勢の親子連れの方と歩きました。会場では地区別の水餃子(500円、200円)をいただきました。



ひめだ高宏

## フツの人々

(926)



# 住宅政策についての提案

私、ひめだの一般質問の2つめは、住宅政策についてです。住宅については、これまで質問したことがありません。今回は長期総合計画に関する検討特別委員会に参加し、いくつか指摘したものをより深める立場から質問しました。

市営住宅の募集は、空き室が出て、それを修理して募集している現状です。ま

ちなかの駅や病院やスーパーや通院、通勤、買い物など便利な市営住宅には多くの応募があり、抽選という事になります。ずいぶん長いことが続いているので、それが当たり前だと思っていました。最近だと必要なら必要は住宅を供給すべきではないかと感じました。くじ運のいい人は一回の抽選で入居できる一

方で、当たらない人はいつまでも出たらないで、いいのかもしれないです。

今回、私は応募者が多く抽選となる地域に市営住宅を用意すること、その住宅は民間住宅の借り上げで対応すること、市営住宅を障害者のグループホームに使えるようにすること、大学誘致により市内中心部の賑わいを創出するためには学生がまちなかに居住できるように、市が民間住宅を借

## 日本共産党



納税者負担の必要を思うサラリーマンは自分がいくら税金を払っているのか、実感しにくいのは、会社から給料をもらって会社に税金はすでに

源泉徴収で差し引かれています。この制度は昔からあったわけはない。莫大な戦争の費用を安定的に調達するために、1940年に導入された。戦争が終わって廃止すればいいものを、税金を取る手段としては効率的なので国はそのまを残した。この制度があると、自分

の使い方について意見を言ひべき主権者なんだといふことをいついそおてします。3日、重税反対行動に参加しながら、そんなことを考え、納税者負担の必要を思った。



原やすひさ (衆院1区)

## 市民のみなさんへのお詫び

松坂英樹県議の議員辞職についてわが党の県議である松坂英樹(議員)有田郡選出)は3月8日、電気の故障をおこした責任をとり、県議会議員に辞職願を提出しました。問題の事件は、松坂県議が2月12日にた川町の温泉施設「ほたるの湯」の駐車場のコンクリートから無断で自動車に充電したものです。「ほたるの湯」の指定管理者から湯浅君に被害届が出され、3月7日に書類送検されました。県民の付託を受けて議会活動をあつない、市民の要求実現の先頭に立つべき党の県議が、このような事件をおこし

り上げ、低家賃で学生に提供することや、高齢者世帯が暮らす住宅を賤い付せ下宿にするための住宅改修補助の制度をいへることを提案しました。

松坂英樹県議の議員辞職について、議員を辞める事態に至ったこと深く深くお詫び申し上げます。

松坂英樹氏がおこした自動車への無断充電は、刑法が禁ずる窃電行為であり、絶対に行きわたるものではありません。日本共産党和歌山県委員会、党議員の日常活動に対する監督責任を痛感しています。県民のみならず、重ねてお詫びすることにも、失った信頼を一日も早く取り戻すために、全力をつくします。

以上  
日本共産党和歌山県委員会  
2017年3月9日

**年金引き下げ 違憲訴訟**  
第2回公判は **3月24日(金)**  
(14:30~)  
ただし傍聴抽せん券  
配布は 13時30分~  
和歌山地裁裁判所前  
13:30に集まる!!